

第66回教育課程小委員会議事録

1 日時・場所

2016年3月6日（日） 10:00-15:50 私立海城高校

2 参加者

矢島、根本、瀧上、宮嶋、南島、田口、飯田、藤原、畠山、上村、富樫

3 委員異動の承認

山下敏氏（埼玉県立児玉白楊高校）が退任しオブザーバーに、後任として富樫民樹氏（埼玉県立浦和工業高校）が就任することを承認した。

4 前回議事録案の承認

原案に一部語句を加筆して承認された。

5 中教審関連・理数系学会・他研究団体等の情勢報告

- ・中教審理科WGが3/9に第5回会合が行われることが報告された。
- ・2/15に日本地学教育学会常務委員会が行われ、その議事録が報告された。
- ・国際地学オリンピック三重大会の現時点の参加国数について27カ国と報告があった。
- ・先日行われた都立高校の入試問題について紹介があった。

6 協議

(1) 次年度パブリックセッションについて

- ・プログラム編成と座長の選任（田口、秋本、宮嶋委員）が終了したことが報告された。
- ・セッション当日に配布する講演要旨について、原稿メ切を4/30（土）とし、前年度のフォーマットを踏襲することを確認した。
- ・講演要旨は、5月連休明けに上村委員が印刷製本を担当することを確認した。

(2) 新「地学基礎」の内容検討について

小問を約20とする課題について、根本、田口、宮嶋の各委員から試案が提案された。議論の結果、下記の到達点に至った。

- ・ストーリーを3展開に再編する。
 - ①地球の層構造とエネルギー
 - ②宇宙の始まりから現在、未来
 - ③地球の営みと人間活動（仮題） → 地球環境、資源、災害、防災を一つの展開とする
- ・太陽の活動は、地球の熱収支の源という捉え方で、「地球の層構造とエネルギー」の展開に入れる
- ・「活用」については、その単元を学ぶと何ができるようになるか、世の中でどう役に立つかの例を次回までに各委員が検討する

(3) 文科省への提言案の検討

2つの提言の標題を下記に定め、文言の確定を行った。

- ・「高等学校「理科」の基礎が付された全4科目必修化に関する提言」
 - －すべての高校生が地球人としての科学リテラシーを修得することを目指して－
- ・「「地学基礎」の内容の精選と深化を求める提言」
 - －主体的・活動的に深く学ぶために－

完成した提言については、3/8に教育検討委員会MLにて提案・承認を受け、3/10の理事会で承認後、提出に向けて連合事務局を通じて文科省との日程調整に入ることを確認した。

(4) 用語問題について

未定であった高校教員選出の委員のポストについて、山下敏氏（埼玉県立児玉白楊高校）が就任することを承認した。

5 次回小委員会

4月2日（土）、10:00-16:00、海城高校で開催することを確認した。